

## 【2012年の営巣状況】

➤今年**は3つがい**が飛来するも、**1つがいのみ**が繁殖成功◀

今年の十三崖では、チョウゲンボウは崖の上流側で1つがいヒナ6羽を巣立たせ繁殖に成功し、ハヤブサもヒナ4羽が巣立ちました。昨年2つがいのチョウゲンボウが営巣した崖の下流側では、3月には2つがいを確認しましたが、4月になるとメスの姿が見られなくなり、オスばかりが4羽から5羽飛んでいました。現在はオス1羽が下流側の人工巣穴に定着しています。1つがいだけの繁殖成功は、2000（平成12）年以来、12年ぶりのこととなります。なぜ、今年がこのような状況になったのかはわかりませんが、十三崖周辺の繁殖地でも今年は繁殖状況が悪いので、この傾向は十三崖に限ったことではなさそうです。

また、応援団事務局が行っているチョウゲンボウの主食であるハタネズミの生息数調査では、生息数が昨年よりも少ないことが明らかになっています。このことも今年の繁殖状況に関係しているのかもしれませんが、チョウゲンボウの集団営巣地では、目立った環境の改変がないにもかかわらず営巣数に変動することがあります。来年以降の動向に注目したいと思います。